

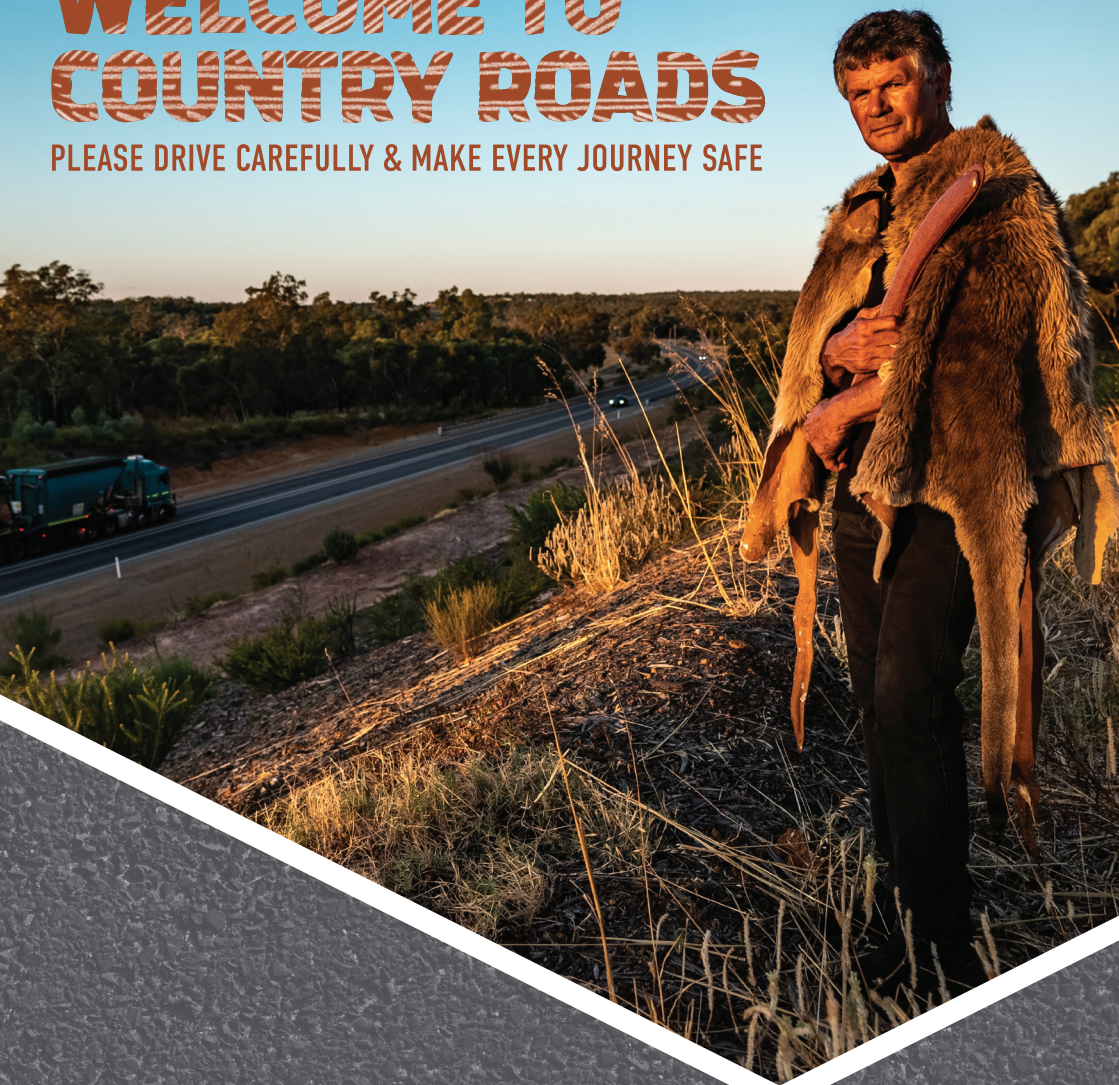


ROAD
SAFETY
COMMISSION

JAPANESE

WELCOME TO COUNTRY ROADS

PLEASE DRIVE CAREFULLY & MAKE EVERY JOURNEY SAFE



製作発行一道路安全委員会
2021年10月

**この文書を他のフォーマットでご希望の方は、
当委員会までご連絡ください。**

事務所所在地：

Road Safety Commission
263 Adelaide Terrace
PERTH WA 6000

郵便物送付先：

Road Safety Commission
PO Box 6348
EAST PERTH WA 6892

Eメール：info@rsc.wa.gov.au
インターネット：www.wa.gov.au/rsc



在パース日本国総領事館
Consulate-General of Japan in Perth

在パース日本国総領事館では、西オーストラリア州内を旅行中の日本人の方や、同州に滞在している日本人の方の健康と安全を最重要事項として掲げております。また西オーストラリア州の道路を運転する際には、だれもが関連する法律や条件について理解しておくことが大切であると考えております。

日本のものとは異なる可能性のあるさまざまな道路法規が存在するなか、道路安全委員会作成の「西オーストラリア州道路運転ガイド」は州における道路運転の方法を理解するための、総合資料となっています。西オーストラリア州で安全かつ楽しく過ごせるようご自分の運転の技能や経験のレベルに関わらず 本ガイドが提供する情報に時間をかけて慣れ親しんでいただくことをお勧めします。

在パース日本国総領事館

- 3 領事による序文
- 5 序論
- 6 知っておくべきこと
 - 9 左側通行
 - 10 車線を越えての運転
 - 12 車両チェック
 - 14 歩行者保護
 - 15 自転車利用者との道路の共用
 - 16 自転車利用者との道路の共用
 - 17 オートバイの運転
 - 18 合流の方法
 - 19 ラウンドアバウトおよびUターン
 - 20 速度
 - 21 緊急車両
 - 22 飲酒・薬物運転
 - 23 携帯電話による「ながら」運転
 - 24 シートベルトは命を救う
- 26 地方や辺境における安全運転
 - 27 写真撮影のための停車
 - 28 長距離運転による疲労
 - 30 砂利道の運転
 - 32 ロードトレインの追い越し
 - 34 路上の野生動物
 - 36 視界不良
 - 37 ヘッドライトのハイビーム使用
- 38 道路標識
 - 40 西オーストラリア州の道路標識例
 - 41 駐車標識ガイド
 - 42 多目的ゾーン
 - 43 お役立ち情報および資料

西オーストラリア州は、西ヨーロッパ全体よりもさらに広大な面積を誇ります。

景色、野生動物、植物、気候、天気、アボリジニ文化は、州全体にわたって大きく異なります。西オーストラリア州の地方や辺境に行くと、さまざまな種類の、独特で楽しい体験ができます。

ある地点から別の地点までの距離は、思ったよりも離れていることがよくあります。この出版物は主要な道路法規について概説しており、あなたが遭遇する可能性のあるいくつかの状況に関して手引きとなるものです。皆さまには西オーストラリア州の探索を楽しみつつ、安全に過ごしていただけるよう願っています。気を付けて運転してください。西オーストラリア州の旅をお楽しみください！

道路安全委員会は、州内における死亡・傷害原因として最大かつ最も一般的な死亡原因である交通事故を減少させることを目的としています。私たちは道路利用者が安全運転を行い、衝突事故を避けることができるよう、意識の向上に努めています。

道路法規や違反に関する詳細については www.wa.gov.au/rsc 次のリンクをご参照ください。



こちらをスキャンして道路安全に関するウェブサイトにアクセスし、西オーストラリア州の法規や罰則について調べましょう。



知っておく
べきこと

知っておくべきこと

- ・ 常に左側を走行しましょう。
- ・ 道のりの計画を立てましょう。
- ・ 山林火災の煙、および他の車両や強風によって舞い上がるほこりがもたらす危険に気を付けましょう。あたりに煙が立ち込めている場合、運転は控えましょう。
- ・ 冠水した道路を通行することは避けましょう。路上の冠水部分を横切って運転してはいけません。見かけよりも水深が深く、流れが速い場合があります。

警報については、次を参照しましょう：

Emergency WA
(西オーストラリア州緊急時対応)
emergency.wa.gov.au



Main Roadsの「トラベルマップ」
mainroads.wa.gov.au



- ・ 路上に現れる牛、カンガルー、エミュー、およびその他の野生動物や家畜に対し、特に日没時には注意を払うようにしましょう。
- ・ 赤信号の際、左折してはいけません。
- ・ 大雨が降ると視界が悪化し、危険性は増加します。
 - 状況に合わせて運転しましょう。
 - ヘッドライトを点灯しましょう。
 - フロントガラスのワイパーを使用しましょう。
 - 冠水した道路を横切るとは、絶対にやめましょう。

運転免許証規定

運転中は現在有効な海外発行の運転免許証、あるいは免許証が英語版でない場合はその翻訳文を携行しなければなりません。または国際運転免許証 (IDP) が必要です。

オーストラリアで車やオートバイを運転する予定でお持ちの海外発行の運転免許証に写真が添付されていない場合は、出身国を出国する前に国際運転免許証を取得しておきましょう。



安全
運転

左側通行

オーストラリアでは、全ての車両が道路の左側を走行します。

左側通行に慣れていない方は、左側通行のルールを忘れないように、メモをダッシュボードにテープで貼り付けておきましょう。レンタカー会社によっては、車内に左側通行シールを貼付しているところもあります。

交差点に差し掛かった時や右左折する際には、特に注意しましょう。

制限速度が時速90キロメートル以上に設定されている多車線道路では、次の場合を除き、左車線を走行しなければなりません：

- 追い越しをする時
- 左車線がバス、または自転車専用レーンの時
- 障害物を避ける時。



車線を越えての運転

路上に引かれた線は、道路の利用方法についての案内役を果たすもので、そこには車道外側線、車線境界線、中央線などが含まれます。

破線ではない単独の実線には、次の3種類があります：

1. 車道側側線 は、道路の縁を示す線です

- 道路に進入、あるいは道路を退出する時、右折車を左側から追い越す時、またはUターンをする時に限り、車道側側線を越えることができます。

2. 車線境界線 は、同一の進行方向へ向かう複数の走行車線を示す線です

- 車線境界線が実線の場合は、その線を越えて走行車線を変更してはいけません。

3. 中央線または分離線は、異なる進行方向へ向かう走行車線を分ける線です

- 中央線または分離線が実線の場合は、右折してその道路を退出するか、その道路に進入する時、またはUターンをする時を除き、その線を越えてはいけません。破線か点線になっている中央線の左、または右側に沿って実線が引かれている場合も同様です。
- 実線の左側に沿って破線か点線の中央線が引かれている場合、安全であれば実線を越えての追い越しが可能です。実線が破線か点線の左側に引かれている場合、線を越えてはいけません。
- 例外：** オートバイを追い越す際は、実線を越えることが許されていますが - これは安全な時のみに限定されます。またあなたの車とオートバイの間には、安全な車間距離を取らなければなりません。15ページもご覧ください（自転車利用者との道路の共用）。



単線の実線（追い越し禁止）



破線



単線の実線（追い越し禁止）



実線を伴う単線の破線（点線が実線の左側にあり、かつ安全が確保されている時に限って追い越し可能）



車両チェック

車を借りたりレンタルする際は、道路の状況を考慮した上で、あなたの旅程に最も適切だと思われる車両モデルを勧めてもらいましょう。

オフロードや舗装されていない道路のなかには、一般車両で走行するには不適当なものもあります。

安全について、また適切に利用できる車両について、レンタカー会社の助言に従いましょう。

家族や友人から車を借りる場合は、所有者の加入保険が所有者以外の運転者も保険対象としていることを必ず確認した上で、出発前の安全チェックを行いましょう。



- ヘッドライト、ブレーキライト、ウィンカー、バックライトが正常に機能することを確認し、予備電球を携帯しましょう。



- 装着タイヤとスペアタイヤの状態をチェックしましょう。
 - タイヤにひび割れ、膨張、でこぼこがないかチェックしましょう。
 - タイヤに異物が付着していないか確認し、あれば除去しましょう。
 - タイヤトレッドの深さは3ミリメートル、またはマッチ棒の先端の大きさを超えていることが必要です。それ以下の場合は、タイヤを交換しましょう。
 - 装着タイヤとスペアタイヤの空気圧が正しいことを確認しましょう。あなたの車にとっての適正な空気圧については、運転席側のドア内側にある張り紙に記載されています。タイヤに空気を充填しすぎないようにしましょう。
 - 車によってはスペアタイヤとして、保管スペースが小さくて済むスペースセーバータイヤを備えています。スペースセーバータイヤは、タイヤのパンク修理のために移動しなければならない時に限って使用してください。走行速度は、通常時速80キロメートル以内に制限されています。



- フロントガラスのワイパーブレードの状態に問題がないこと、またウォッシャー液が十分入っていることを確かめましょう。視界をできるだけ良好に保つため、フロントガラスを内側・外側ともに拭いておきましょう。



- オイルと冷却水の量をチェックしましょう。



- 周りに車がない場所に行き、ブレーキチェックを行いましょう。ブレーキがキーンと音を立てたりきしんだりするようであれば、整備が必要かもしれません。

四輪駆動(4WD)向け道路は、一般車両での走行には適していません。



歩行者保護

歩行者は立場の弱い道路利用者であるため、特に注意を払い、思いやりの心を持って道路を共用しましょう。

車およびオートバイの運転者

車やオートバイの運転者は、次の場合、歩行者を優先して通行させなければなりません。

- 道路を曲がる時
- Uターンをする時
- 一時停止の標識がある場所
- 「一時停止」標識、または「一時停止」線があるスリップレーン（左折専用車線）。

歩行者は道路上に白線で印が付けられた横断歩道や信号機や交差点のそばにある明示された横断歩道において、優先通行権を持っています。

歩行者

交通信号が設置されている場所を横断する時は、歩行者用信号が青の時にだけ渡るようにしましょう。歩行者用信号が赤く点灯しているか、赤く点滅していたら、横断してはいけません。

違反者には罰則が適用されます。



自転車利用者との道路の共用

西オーストラリア州で車両を運転する者は、同一方向に向かう自転車利用者を、安全な側方距離を確保した上で追い越さなければなりません。それには次のような方法があります：

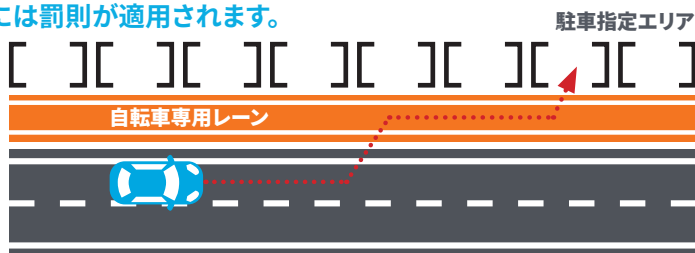
- 公示制限速度が時速60キロメートル以下の道路では、1メートルの側方距離を取って追い越す
- 公示制限速度が時速60キロメートル以上の道路では、1.5メートルの側方距離を取って追い越す

安全な追い越しのための側方距離に関する法律により、車両を運転する者は、安全な場合や運転者が対向車線の流れをはっきり見通せる場合に限り、実線によるものも含めた中央線、または分離線を越えて運転することができます。

追い越しのために最低限必要な側方距離に関する法律は、車両を追い越す自転車利用者には適用されません。

駐車指定エリア（下図を参照）に駐車する場合は、最高50メートルにわたって自転車専用レーンを走行することができます。

違反者には罰則が適用されます。



自転車利用者との道路の共用

ロードトレイン(32ページ参照)、トラック、バス、農業用機械などの重車両は、平均的な車両よりも重いため、より長い停車距離を必要とします。

信号の設置場所、一時停止標識の設置場所、または渋滞中の場所で重車両の前に割り込んではいけません。というのも重車両を停止させるための十分なスペースが残されていない可能性があるからです。

重車両やトラックの運転者は、ミラーを見ることで周りの状況を確認します。トラックの死角に立ち入ると、あなたの車両はトラックの運転手からは見えなくなります。

あなたにトラック運転手のサイドミラーが見えない場合、トラックの運転手にはあなたが見えません。

違反者には罰則が適用されます。



オートバイの運転

オートバイおよびスクーターは、他の乗り物のように利用者の身体を保護してくれません。

オートバイの運転者と同乗者には、オーストラリア規格に適合したオートバイ用ヘルメットを着用することが義務付けられています。

8歳未満の子どもがオートバイに同乗することは認められていません。

身を守るための様々なライダーパンツ、ジャケット、手袋に関し、その安全性や快適性の評価を知るには、MotoCAPのウェブサイト参照しましょう。CRASHのウェブサイト上には、オーストラリア規格を満たしたオートバイ用ヘルメットの購入ガイドが掲載されています。

MotoCAPウェブサイト

motocap.com.au



CRASHウェブサイト

crash.org.au



違反者には罰則が適用されます。



合流の方法

西オーストラリア州には、二種類の合流車線があります。

1. 異なる二車線の合流によって一方の車線が終了する場合、先行車両が優先されます。
2. 路面標示によって分割されていた二車線が一車線へと減少する場合、合流先の車線を走行する車両を優先させます。

合流地点では思いやりある運転を心がけ、ウィンカーを使用し、安全な車間距離を確保し、合流先の道路の制限速度にできる限り合わせるようにして合流します。

違反者には罰則が適用されます。



ラウンドアバウト

ラウンドアバウト進入時には、既にラウンドアバウトに進入している車両を優先通行させなければなりません。

複数車線のラウンドアバウトでは、路面標示された進行方向を示す矢印に従いましょう。

左折する際

- ・ ラウンドアバウトに進入する際、左車線から左へウィンカーを出します。
- ・ 左車線にとどまり、この車線からラウンドアバウトを退出します。

直進する際

- ・ ラウンドアバウトに進入する際、ウィンカーを使用しません。
- ・ 左車線または右車線から進入し、同じ車線にとどまった後、ラウンドアバウトを退出します。
- ・ 可能であれば、利用するラウンドアバウト出口の一つ前の出口を通過した際、ウィンカーを出します。

右折または一周する際

- ・ ラウンドアバウトに進入する際、左車線から左へウィンカーを出します。
- ・ 左車線にとどまり、この車線からラウンドアバウトを退出します。
- ・ 可能であれば、利用するラウンドアバウト出口の一つ前の出口を通過した際、ウィンカーを出します。

違反者には罰則が適用されます。

Uターン

Uターンを行う場合、他のあらゆる者を常に優先した上で、ウィンカーを点滅させましょう。

次の場合、Uターンを行ってはいけません：

- ・ Uターンを許可する標識がない信号設置場所
- ・ 「Uターン禁止」の標識がある場所
- ・ 高速道路上
- ・ 対向車が見えにくい場合。

違反者には罰則が適用されます。

速度

速度をよく確認するようにしましょう。常に道路の状況に合わせて運転しましょう。

- 絶対に制限速度を超過してはいけません。
- スクールゾーンや歩行者と車両が共用するエリアなどは、時速40キロメートルの速度規制区域の適用対象となります。このようなエリアは、標識で示されています。
- 標識がない場合、既定の制限速度は以下の通りです：
 - 都市部全域では時速50キロメートル
 - 高速道路では時速100キロメートル
 - 地方の一般道路では時速110キロメートル。
- 仮免許運転者およびキャラバン・ボート・トレーラーなどを牽引する運転者は、時速100キロメートルを超える速度で運転してはいけません。これは、道路の制限速度がそれ以上である場合も含まれます。
- 高速道路上では、緊急車両が通行する場合、または交通渋滞がある場合を除き、制限速度よりも時速21キロメートル以上遅い速度で走行してはいけません。



SCHOOL
ZONE

すべての
スクールゾーンでは
登校時と下校時に
時速40キロメートル
の速度制限が
適用されます。

緊急車両

青色灯または赤色灯を点滅させたり、またはサイレンを鳴らしたりして走行する警察、消防、救急などの緊急車両が容易に追い越せるよう、道を譲らなければなりません。

緊急車両が近づいてきている際は：

- できるだけ車を道路の左端に寄せて、優先的に通行させましょう。
- 車を左に寄せることができない場合、速度を落とし、左ウィンカーを点滅させ、緊急車両があなたの車の周りを走行できるようにしましょう。
- 左車線にいる場合は、必要に応じて、自分の右側の車線にいる他の車が自分の車線の方に寄れるようにしましょう。

法律を犯してはいけません

SLOMO法（スロー・ダウン・ムーブ・オーバー）により、停車中の緊急車両または事故対応車両が事故現場でライトを点滅させている脇を通過する際には、時速40キロメートルまで減速することが義務付けられています。

青色灯または赤色灯を点滅させて走行する緊急車両が容易に追い越せるよう、道を譲らなければなりません。



飲酒・薬物運転

飲酒運転

西オーストラリア州警察は、無作為に運転者を選んで血中アルコール濃度の測定を行っています。道路を利用する者全員の安全を守ることを目的としています。この検査を拒否することは違法行為です。

血中アルコール濃度が0.05%以上ある状態で運転することは違法行為です。これは少量の飲酒を行った場合と同等の値です。次の運転者に対しては、血中アルコール濃度が0%に制限されています。

- 仮免許で車、およびオートバイを運転する者
- Pプレートを着装して車、およびオートバイを運転する者
- 特別な免許証を保持する者
- 最近、免許停止を受けた者
- 車両重量が22.5トンを超す車両を運転する者
- バス、タクシーまたは小型貸切車両を運転する者。

これらの法的規制は、監督役として同乗する運転者に対しても適用されます。

薬物運転

運転者が何らかの薬物を摂取し、運転能力が損なわれていることが疑われる場合、警察は車を停止するよう指示することができます。

唾液検査または血液検査が行われることがあります。この検査を拒否することは違法行為です。

違反者には罰則が適用されます。

飲酒する予定があるなら運転しないようにしましょう！



携帯電話による「ながら」運転

運転者による「ながら」運転が、交通事故の主な原因となっています。違法な携帯電話使用に関する法律が厳しく施行されています。

運転中は、携帯電話が車載用携帯電話ホルダーで固定されている場合に限り、通話の着信時と切断時に電話に触れることができます。携帯電話が携帯電話ホルダーで固定されていない場合、通話の着信と切断は以下の方法に限り認められています：

- 音声起動
- Bluetoothハンズフリー車載用キット。

携帯電話に触れることなく操作できる場合でも、運転中のテキストメッセージ、ビデオメッセージ、Eメール、その他類似する通信の作成、送信、閲覧は違法行為とされています。

運転中に携帯電話搭載のGPSを使用することは、キーパッドやスクリーンに触れることなく操作できる場合に限り認められています。運転開始前に設定を済ませておかねばなりません。

違反者には罰則が適用されます。



シートベルトは命を救う

シートベルトの着用が義務付けられています。運転者であるあなたと同乗者の全員が、シートベルト未着用によって罰金刑の対象となります。

運転者であるあなたには、同乗者に適切なシートベルトを確実に着用してもらう責任があります。子どもに適切なチャイルドシートを選ぶ際は、子どもの身長と体重を考慮に入れましょう。

チャイルドシートと座る位置

法律により、年齢に応じて次の事項が定められています：

- ・ 生後6か月未満の場合、後ろ向きのチャイルドシートを利用すること
(例：ベビーシート)
- ・ 生後6ヶ月から4歳までの場合、ハーネスベルトが付いた、後ろまたは前向きのチャイルドシートを利用すること
- ・ 4歳から7歳までの場合、前向きのチャイルドシート、または正しく調整され締められたシートベルトあるいは子供用安全ハーネスベルトを使って固定させたジュニアシートを利用すること。

7歳を超える子ども

7歳を超える子どもはジュニアシートのほか、子どもの身体が十分大きい場合は大人用シートベルトを利用することができます。

子供が座ってよい座席

車内に2列、もしくはそれ以上の列にかけて座席がある場合、7歳未満の子どもは助手席に座ってはいけません。

4歳から7歳の子どもは、その他すべての座席が7歳未満の同乗者で埋まっている場合に限り、助手席に座ることができます。

7歳を超えた子どもは、身体が正しく固定されている限り、どの座席に座っても構いません。

詳しい情報については、こちらのチャイルドシート情報ラインまでお電話ください
1300 780 713。

タクシーやライドシェア（相乗り）の場合

適切なチャイルドシートが利用可能な場合であっても、7歳未満の子どもがタクシーの助手席に座ることは禁止されています。

ライドシェア

ライドシェア・サービスの運転者は、乗客がシートベルトを着用していることを確認する必要があります。

チャイルドシートの使用は非常に強く推奨されているものの、これは運転者の義務ではありません。チャイルドシートがない場合、1歳から7歳の子どもは大人用シートベルトを使って身体を固定しなければなりません。

違反者には罰則が適用されます。





地方や
辺境における
安全運転

写真撮影のための停車

景色を眺めたり、風景写真撮影したりするために路上で停車してはいけません。

安全な場所で停車するために、以下のことに従いましょう：

- あなたが停車したい意思を、余裕をもって他の運転者に伝えるため、早めにウィンカーを出しましょう
- 特に路肩が未舗装であったり砂利で覆われたりしている場合は気を付けて運転し、道路から十分離れた位置に駐車しましょう。

道路へ戻る際は、以下のことに気を付けてください：

- 他の車がスピードを出して走行しているかもしれないことを自覚しておきましょう
- 車の流れのなかで十分大きな車間距離が空くまで待ちましょう
- 車の流れを妨害するのしないよう十分に時間を取ったうえで合流し、周りの速度に合わせて加速しましょう。

ゆっくりと注意して運転しましょう

(特に路肩が未舗装であったり、砂利で覆われたりしている場合)。

長距離運転による疲労

西オーストラリア州は、250万平方キロメートルの面積を有しています。町と町の間の距離は、思っていたよりもずいぶんと離れていることがあります。

- 詳細かつ最新の道路地図を利用しましょう。
- 道路の状態と天候を考慮に入れた上で、予定している運転距離に基づいた移動計画を立てましょう。
- 既に移動した距離を念頭に置いておきましょう。
- 疲労防止のために水を飲みましょう。
- 各人が一日当たり4～5リットルの水を携行するようにしましょう。
- 予備燃料を用意しておきましょう。
- 長い旅に出る前日の夜は、しっかり休みましょう。
- 疲れている場合、運転してはいけません。
- 定期的に休憩をはさみましょう。休憩し、なおかつ 景色を楽しむためにも、一定の時間ごとに車を停めましょう。
- ガソリンスタンドを見かける度に給油しましょう。
- 家族や友人と交代しながら運転しましょう。
- 休憩してリフレッシュした後に、初めて運転を再開しましょう。



ご存知でしたか？

給油所と次の給油所との間は、最高で200キロメートルも空いていることがあります。ガソリンスタンドを見かける度に給油しましょう。長距離運転の予定があるなら、予備燃料を携帯しましょう。



砂利道の運転

西オーストラリア州の地方を走る多くの道路は、小さな石で覆われた砂利道となっています。時には、路肩や道路の縁が砂利で覆われていることもあります。

砂利は車のタイヤの下でまるでボールベアリングのように働くため、車両が制御不能な状態で滑ってしまう可能性があります。

- カーブでは減速しましょう。
- 車両が横滑りしたり、制御不能に陥ったりすることを防ぐため、急ブレーキを踏んではいけません。
- また砂利道や未舗装道路では大きな砂ぼこりが舞い上がることを意識しておきましょう。これによって視界が妨げられてしまいます。このような状況では、他の車との間で安全な車間距離を保つようにしましょう。

また対向車のせいでほこりが舞い上がったり、砂利が跳ね飛んできたりすることにも留意しておきましょう。未舗装道路では、ヘッドライトを点灯したまま運転しましょう。

**カーブでは減速しましょう。
急ブレーキを踏んではいけません。**



ロードトレインの追い越し

「ロードトレイン」として知られる連結トレーラー、すなわち世界有数の長さを誇るトラックが、西オーストラリア州で見受けられます。中には50メートルを超える長さのものもあり、追い越す際は非常に気を配る必要があります。

- ・ 見渡す限り全く対向車が来ない、長くまっすぐな道路で追い越す必要があります。
- ・ このような長いトラックの追い越しには、時間がかかるかもしれないことを意識しておきましょう。
- ・ 追い越す際は、トラックが引き起こす空気の流れのせいで、あなたの車をトラックの方へと引き寄せてしまうような風が発生することにご留意ください。
- ・ 十分に時間をかけましょう。車数台分の長さの距離を取りましょう。安全に追い越せる際は、ウィンカーを出し、注意を払って追い越しましょう。絶対に制限速度を超過してはいけません。
- ・ キャラバンやトレーラーを牽引する場合、ロードトレインの追い越しを試みてはいけません。安全な追い越しができる、追い越し車線にたどり着くまで待ちましょう。
- ・ 地方の交通量の多い道路では、約5〜20キロメートルごとに追い越し車線が設けられています。時速100キロメートルで走行すると、追い越し車線は3分から12分ごとに現れる計算です。安全が確保できない場合は、追い越してはいけません。



ご存知でしたか？

ロードトレインは最高53.5メートル（175.5フィート）の長さがあり、2～4台のトレーラーが連結されています。時速110キロメートルで追い越す場合、追い越しには2.5キロメートル、または85秒間が必要となります。



路上の野生動物

カンガルー、牛、ラクダ、さらには大型鳥類といった野生動物が、車の前方にある路上で休んでいたり、道路を横断したりしている可能性があることを認識しておきましょう。

路上の動物は、予想もつかない動きをすることがあります。時にはあなたの車から逃げるのではなく、立ち向かってくることもあります。

- 減速しましょう。時間をかけてブレーキを踏みましょう。
- クラクションを鳴らしましょう。安全だと思われる場合は動物を避けるようにして、その周囲をゆっくりと走行しましょう。
- スピードを出したまま、動物を避けて運転を続けることを試みてはいけません。そうすることで他の車と衝突したり、道路わきの砂利の上で制御不能となったりする可能性があります。

オーストラリアでは毎年、7,000件を超える数の衝突事故がカンガルーとの間で発生しています。スピードを出して走行している際に衝突が起こると、車が非常に大きな損傷を受けることがあります。事故車両のうち、約15%が廃車となります。事故の危険性は、カンガルーの活動が最も活発な日の出・日没の時間帯に最も高くなります。カンガルーは、特に冬場は活発に動き回ります。

動物の動きを察知するためにも、運転中はできるだけ先に視線を据え、道路の両側もよく見るようにしましょう。



動物にぶつかった場合取るべき行動は？

オーストラリアの在来動物が負傷した場合：

- 車を道路の外へと安全にかつ確実に移動させましょう。
- 9474 9055のワイルドケア・ヘルプラインへ電話をかけましょう。
- 負傷したカンガルーに近づいてはいけません。カンガルーは非常に強烈なキックを飛ばしてくるため、蹴られると相当な危害が及ぶことがあります。



視界不良

山林火災の煙や冠水の影響を受けた道路を避けるようにして旅行計画を立てましょう。警報については、次を参照しましょう：

**Emergency WA (西オース
トラリア州緊急時対応)**
emergency.wa.gov.au



Main Roadsの「トラベルマップ」
mainroads.wa.gov.au



あたりに煙が立ち込めている場合、運転は控えましょう。どうしても運転する必要がある場合は、ゆっくりと、道路の状態に合わせて走行しましょう。

直射日光が目差し込む時間帯は、車やオートバイの運転を控えましょう。太陽がより空高く昇るまで休憩の方がよいでしょう。夕方は日没まで待ちましょう。その後、ヘッドライトを点灯し、視界を確保したうえで運転しましょう。

路上の野生動物に気を付けてください。

日中でもヘッドライトを点灯して車両を運転することが推奨されています。そうすることで、あなた自身をはじめ、あなたの走行する方向が、他の道路利用者からより見やすくなります。



ヘッドライトのハイビーム使用

地方や辺境を走るほとんどの道路には、街灯がまったく設置されていないか、もしくはわずかな数しか設置されていません。したがって、進行方向がはっきり見えるように、ヘッドライトをハイビームで使うことが認められています。

車間距離が短い場合、ハイビームを利用すると他の運転者の目をくらませます。これによって衝突が起きる可能性があります。

次の場合、ハイビームの使用は認められていません：

- 前方車両との車間距離が200メートル未満の場合
- 対向車との車間距離が200メートル未満の場合、または対向車のヘッドライトが「ロービーム」の場合（すなわち、ハイビームを点灯していない場合）。

霧や砂嵐が発生したり大雨が降ったりしている時は、フォグランプを使うことができます。ヘッドライトとフォグランプの両方を同時に点灯したまま運転してはいけません。

違反者には罰則が適用されます。





道路 標識



西オーストラリア州の道路標識例



西オーストラリア州の踏切の多くは、道路を横切るように設置されています。

- 警告標識の前で一時停止しましょう。
- 電車が通過し終わるまで待ちましょう。



学校の近くで、点滅する速度標識がよく設置されています。

- 時速40キロメートルまで減速しましょう。
- 子どもに注意しましょう。



ラウンドアバウトの通行方法はわかりにくいことがあります。

- 常に左側を時計回りに回りましょう。19ページをご覧ください。



辺境の道路では、速度標識が取り外されていることがあります。

- そういった地域の最高速度は、州が定めた既定速度（現在は時速110キロメートル）となっています。
- 常に道路の状況に合わせて運転しましょう。

駐車標識ガイド

同乗者には駐車標識を翻訳できる、スマホアプリを使用することが推奨されています。



停車禁止

停車は、交通状況に鑑みて必要とされる場合を除き、認められていません。また停車禁止ゾーンは、路面上で縁石の横に平行に引かれた黄色い実線によっても識別できます。



駐車禁止

乗客の乗り降りや荷物の積み下ろしのために認められている駐車時間は、最長で2分間までとなっています。運転者であるあなたは車両の3メートル以内にとどまる必要があります。



チケット制の駐車スペース

チケット販売機でチケットを購入し、車のダッシュボードに置いて提示しなければなりません。チケットは、購入されたエリア内に限り有効です。標識、チケットまたはチケット販売機に表示された指示内容に従うようにしましょう。(例: time limits 1P = 最長1時間)。



時間制限付きの駐車スペース

一つの標識の上に、駐車時間のオプションが複数表示されていることがあります。例えば、「2P from 8am-5.30pm」と表示されているかもしれません。ここに指定された時間帯以外は、駐車時間が無制限となります。

多目的ゾーン

複数の標識を組み合わせることで、日中や夜間の異なる時間帯においてそれぞれ適用される制限事項が表示してあります。標識内の各セクションは、他のセクションと照らし合わせて読み取る必要があります。標識には、それぞれの目的に応じた異なる運用時間帯が表示されています。

バス専用レーン

道路標識で示された、または路面標示に指定のある時間帯においては、バス専用レーンを走行したり、そこに駐車したりすることはできません。

駐停車禁止道路

駐停車禁止道路の標識上には、最も交通量の多い時間帯が表示されており、その時間における一切の駐停車が禁止されています。

牽引移動

「停車禁止、駐停車禁止、バス専用レーン」などが標識が設置されたエリアで違法駐車している車両は、牽引で移動させられることがあります。牽引移動された場合は、138 138に電話して西オーストラリア州Main Roadsまで連絡しましょう。決められた営業時間内に限り、車両を引き取ることができます。車両を引き取るにあたっては、相当な額の罰金の支払いが求められます。



お役立ち情報および資料

セント・ジョンズ救急隊 (St John's Ambulance) の「ファースト・レスポnder」 (First Responder) アプリを携帯電話にダウンロードしましょう。このアプリは000に電話して救急車を要請する必要が生じた場合、あなたのGPS座標をオペレーターに自動送信します。これにより、あなたの位置を確認したり、救急車を配車したりするためにかかる時間を短縮することができます。

また、このアプリにはその他の情報も含まれています。そこには、応急処置マニュアルのほか、最寄りのクリニックや病院の救急外来の所在地などが含まれています。

セント・ジョンズ救急隊 (St John's Ambulance) の「ファースト・レスポnder」 (First Responder) アプリを携帯電話にダウンロードしましょう。



セント・ジョンズ救急隊 「ファースト・レスポnder」アプリ

www.stjohnwa.com.au/online-resources/st-john-first-responder-app

また(窃盗犯が狙いを定める)旅行者のホットスポットに駐車し、その場を離れる際は、貴重品を放置せずに携行することが推奨されています。車内に見えるものがあると、それがどんなものであれ、車上狙いに遭う可能性が高まります。



**ROAD
SAFETY**
COMMISSION